

第29回光が丘第八保育園民間委託化対策協議会

平成18年3月4日(土) 光が丘図書館

協議会検討事項記録

- 議題 1 第11回から第14回協議会合意事項確認について
2 光が丘第八保育園の現状と対応策について

1 第11回から第14回協議会合意事項確認について

要点記録と協議会検討事項記録を、保護者側委員、区側委員双方の代表により署名。

2 光が丘第八保育園の現状と対応策について

(保護者側) 区側から現状説明を願いたい。

(区側) ピジョン職員の退職について、1月中旬に1名の退職者が出たとき、これ以上出さないよう指導してきた。しかし、2月末に2名、3月末にも退職予定者がいる。

退職者の出る背景に、朝夕の当番で常勤職員に負担がかかり、ストレスがあると認識している。園長は、当番職員の負担軽減を考え、園長自身が当番に入り、管理能力を発揮できなかった。

ピジョンに対して、当番の負担を解消するよう指導、要請をした。園長を補佐する副園長の設置を指示した。さらに、ピジョン本部のサポート強化を要請した。

(事業者側) 今後の対応策については、常勤保育士の過重労働を軽減するため、短時間保育士の採用。退職者の補充と育成。園運営のマネジメントの強化をする。

(保護者側) 現時点の光が丘第八保育園の保育の質は、下限以上か、以下なのかお聞きしたい。

(事業者側) 下限より下の位置と認識している。区のフォローをいただく中で早く下限に近づけたい。

(区側) 現状では、下限を下回っていると認識している。

(事業者側) 区へ3月末までのフォローおよび4月以降も必要なフォローをお願いしたいと考えている。

(区側) ピジョンから3点の対策提案があった。ピジョンが自立し責任を持って運営してもらいたい。4月以降は現在のようなフォローを行う考えはない。区立であり支援調整係が巡回によるフォローを行う。

(保護者側) 区は巡回指導としているが、ピジョンが必要とするフォローはどのようなものか。

(事業者側) ピジョンとしてできることは完遂する。全員が残るフォローは必要ないと考える。下限から上回る部分にフォローを願いたい。

(保護者側) 3月で3分の1が退職となる。引継ぎなどを考えると示されたものは、具体的なものがない。0・1歳は、この状態で区立保育園の保育ができるのか。

(区側) ピジョンは、現状のフォローを言っているわけではないと認識している。

(保護者側) 巡回指導は通常の対応。今回の緊急時はどう考えるのか。

(区側) 状況に応じて巡回指導の密度を考えて行う。

(保護者側) ピジョンとしては、同じフォローが必要なのか、巡回でよいのか確認したい。

(事業者側) 巡回の内容によるが、それのみでは厳しいと思うが、区はやり方を工夫するといっている。

(保護者側) ピジョンの出した課題も具体的な対応策もなっていない。

(区側) 今日の課題を踏まえ次回に示したい。

以上

次回日程 3/11(土)を予定